



2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/ja/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼経営執行役員社長 Group C00 (氏名) 津久井 幸一

問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役員 CFO

(氏名) 高田 寿子

TEL 03-3214-7500

半期報告書提出予定日 2026年11月13日

配当支払開始予定日

2026年12月1日

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		税引前中間利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	845,200	60.5	456,809	96.5	510,234	121.3	368,083	116.8	368,083	116.8	466,662	150.9
2026年3月期中間期	526,733	60.0	232,435	145.0	230,517	148.8	169,813	144.9	169,813	144.9	185,969	229.3

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	508.99	506.12
2026年3月期中間期	232.19	231.49

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	1,732,080	1,145,135	1,145,135	66.1
2026年3月期	1,171,816	795,726	795,726	67.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	-	29.00	-	30.00	59.00
2027年3月期	-	49.00			
2027年3月期(予想)			-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

詳細については、本日公表の「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,863,000	65.1	967,000	93.7	1,021,500	97.7	741,500	97.5	741,500	97.5	1,027.08

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

詳細については、添付P.3「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

2. 連結業績予想における「基本的1株当たり当期利益」は、2026年9月30日現在の「期末発行済株式数(自己株式を含む)」から「期末自己株式数」を除いた株式数を、期中平均株式数とみなして算定しております。

詳細な株式数は、※注記事項 (3) 発行済株式数(普通株式)をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更: 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期中間期	732,000,000株	2026年3月期	732,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	10,047,095株	2026年3月期	6,484,224株
③ 期中平均株式数(中間期)	2027年3月期中間期	723,170,753株	2026年3月期中間期	731,357,237株

(注) 期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積り及び予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	P. 4
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	P. 5
(3) 要約中間連結持分変動計算書	P. 6
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(セグメント情報)	P. 8

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当中間連結会計期間(2026年4月1日～2026年9月30日)の状況

(単位:億円)

	2026年3月期 中間連結会計期間	2027年3月期 中間連結会計期間	対前年同期増減率
売上高	5,267	8,452	60.5%
営業利益	2,324	4,568	96.5%
税引前中間利益	2,305	5,102	121.3%
中間利益	1,698	3,681	116.8%

当中間連結会計期間における世界経済は、米国を中心としたAI関連投資の拡大が下支えとなり、全体として底堅い成長基調を維持しました。一方で、中東情勢をはじめとする地政学的リスクや、インフレ懸念などを背景に、先行き不透明感も継続しました。

こうした世界経済情勢のもと、AIを巡る技術競争加速や社会実装の進展を背景に、半導体市場は力強い成長が続きました。データセンタ向けのSoC半導体やメモリ半導体など、AI関連の高性能半導体が市場成長を牽引しました。

当社グループのビジネスにおいては、AI関連の高性能半導体の生産数量が増加し、先端パッケージの採用などを通じた半導体の複雑化が進む中で、当社テストに対する顧客の積極的な設備投資が継続しました。当社グループは、こうした旺盛なテスト需要にタイムリーに対応すべく、サプライチェーン全体を通じて生産能力拡大に努めました。

この結果、売上高は8,452億円(前年同期比60.5%増)となり、増収及び売上ミックスの良化などにより、営業利益は4,568億円(同96.5%増)となりました。また、投資有価証券の評価益を主な要因として、金融収益約570億円を計上しました。これらにより、税引前中間利益は5,102億円(同121.3%増)、中間利益は3,681億円(同116.8%増)となりました。対米ドルでの円安進行も業績へ寄与し、売上高、営業利益、税引前中間利益及び中間利益は、いずれも中間連結会計期間として過去最高を更新しました。当中間連結会計期間の平均為替レートは、米ドルが160円(前年同期146円)、ユーロが185円(同166円)、海外売上比率は99.4%(前年同期98.3%)でした。

セグメントの業績は次のとおりです。

<テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2026年3月期 中間連結会計期間	2027年3月期 中間連結会計期間	対前年同期増減率
売上高	4,780	7,702	61.2%
セグメント利益(△損失)	2,406	4,556	89.4%

当部門では、全般的に製品販売が拡大しました。特にSoCテストシステムにおいては、AI関連SoC半導体の生産数量の増加と複雑化の進展を主因に、売上が伸長しました。メモリテストシステムにおいても、拡大するデータセンタ投資を背景に、DRAM向けの売上が増加したほか、不揮発性メモリ向けの売上也伸びました。

以上により、当部門の売上高は7,702億円(前年同期比61.2%増)、セグメント利益は4,556億円(同89.4%増)となりました。

〈サービス他部門〉

(単位:億円)

	2026年3月期 中間連結会計期間	2027年3月期 中間連結会計期間	対前年同期増減率
売上高	488	750	53.7%
セグメント利益(△損失)	30	209	584.6%

当部門では、当社グループ製品の設置台数の増加に伴い、サポート・サービスの売上が伸長しました。加えて、高性能SoC半導体向けのテスト用インタフェースボードなどの消耗品販売も増加しました。なお、前年同期のセグメント利益には、事業の一部譲渡による譲渡益約25億円が含まれています。

以上により、当部門の売上高は750億円(前年同期比53.7%増)、セグメント利益は209億円(同584.6%増)となりました。

(2)財政状態の概況

当中間期末の総資産は、投資有価証券が3,647億円、棚卸資産が1,207億円、現金及び現金同等物が618億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比5,603億円増加の1兆7,321億円となりました。負債合計は、社債が895億円、営業債務及びその他の債務が465億円、その他の流動負債が452億円、未払法人所得税が244億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比2,109億円増加の5,869億円となりました。また、資本合計は1兆1,451億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比1.8ポイント減少の66.1%となりました。

(3)キャッシュ・フローの概況

当中間期末における現金及び現金同等物は、前年度末より618億円増加し、4,018億円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前中間利益5,102億円を計上したことに加え、棚卸資産の増加(△1,195億円)、法人所得税の支払額(△1,098億円)、営業債務及びその他の債務の増加(467億円)、前受金の増加(442億円)に減価償却費や金融商品評価損益などの非資金項目等の損益を調整した結果、3,070億円の収入(前年同期は、1,399億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,109億円の支出(前年同期は、171億円の支出)となりました。これは主に、負債性金融商品の取得による支出(△1,844億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、304億円の支出(前年同期は、872億円の支出)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出(△1,059億円)、配当金の支払額(△218億円)と転換社債型新株予約権付社債の発行による収入(1,000億円)によるものであります。

(4)今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く事業環境を展望しますと、AI関連投資が拡大する中、暦年2026年の半導体市場は、AI関連の高性能半導体を牽引役として前年比での高い成長が見込まれます。半導体テスト市場においても、特に推論AIの進展に伴い、関連する高性能半導体の生産数量の増加及び複雑化を背景に、暦年2026年は過去最大の市場規模を更新すると見えています。

これらの見通し及び当中間連結会計期間の業績進捗を踏まえ、当連結会計年度の通期連結業績予想を修正します。売上高は2026年7月時点の1兆7,140億円から1兆8,630億円へ、営業利益は8,460億円から9,670億円へ、税引前利益は8,910億円から1兆215億円へ、当期利益は6,600億円から7,415億円へ、それぞれ上方修正します。予想の前提とした当連結会計年度下期の為替レートは、米ドルが150円、ユーロが170円です。

なお、現下の中東情勢による事業及び業績への影響は、物流コストを含む一部のコスト増が見込まれるものの、現時点においては直接的な影響は限定的であると見えています。

一方で、AIへの投資が産業界で拡大する中、メモリ半導体などの主要部品の需要は引き続き供給を上回っています。当社グループは、さらなる成長機会の取り込みに向け、生産能力増強を加速するとともに、サプライチェーンのレジリエンス強化に引き続き注力してまいります。

当社グループは、外部環境の変化に注意を払い、機敏かつ柔軟に対応するとともに、第3期中期経営計画で掲げた施策を推し進めることで中長期的なステークホルダー提供価値の拡大に取り組んでまいります。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	339,966	401,785
営業債権及びその他の債権	228,731	239,468
棚卸資産	231,718	352,426
その他の流動資産	35,992	39,528
流動資産合計	836,407	1,033,207
非流動資産		
有形固定資産	101,628	112,196
使用権資産	19,947	17,510
のれん及び無形資産	84,250	82,520
投資有価証券	67,927	432,586
その他の金融資産	4,022	4,150
繰延税金資産	55,774	47,902
その他の非流動資産	1,861	2,009
非流動資産合計	335,409	698,873
資産合計	1,171,816	1,732,080
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	142,061	188,540
未払法人所得税	112,455	136,857
引当金	15,538	17,494
リース負債	4,966	4,820
その他の金融負債	12,508	12,873
その他の流動負債	42,756	87,924
流動負債合計	330,284	448,508
非流動負債		
社債	-	89,486
リース負債	15,226	12,940
退職給付に係る負債	20,222	19,794
繰延税金負債	6,444	12,907
その他の非流動負債	3,914	3,310
非流動負債合計	45,806	138,437
負債合計	376,090	586,945
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	52,462	62,108
自己株式	△44,372	△148,066
利益剰余金	655,566	1,007,814
その他の資本の構成要素	99,707	190,916
親会社の所有者に帰属する持分合計	795,726	1,145,135
資本合計	795,726	1,145,135
負債及び資本合計	1,171,816	1,732,080

(2)要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書
(要約中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	526,733	845,200
売上原価	△191,454	△249,822
売上総利益	335,279	595,378
販売費及び一般管理費	△105,868	△139,490
その他の収益	3,290	1,120
その他の費用	△266	△199
営業利益	232,435	456,809
金融収益	1,316	57,016
金融費用	△3,234	△3,591
税引前中間利益	230,517	510,234
法人所得税費用	△60,704	△142,151
中間利益	169,813	368,083
中間利益の帰属 親会社の所有者	169,813	368,083
1株当たり中間利益		
基本的	232.19円	508.99円
希薄化後	231.49円	506.12円

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間利益	169,813	368,083
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△242	△224
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	10,372	108,281
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	6,026	△9,478
税引後その他の包括利益	16,156	98,579
中間包括利益	185,969	466,662
中間包括利益の帰属 親会社の所有者	185,969	466,662

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2025年4月1日 残高	32,363	46,665	△104,193	489,850	41,854	506,539	506,539
中間利益				169,813		169,813	169,813
その他の包括利益					16,156	16,156	16,156
中間包括利益	-	-	-	169,813	16,156	185,969	185,969
自己株式の取得		△18	△70,002			△70,020	△70,020
自己株式の処分		△410	1,088	△269		409	409
配当金				△14,674		△14,674	△14,674
株式に基づく報酬取引		2,117				2,117	2,117
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△242	242	-	-
所有者との取引額等合計	-	1,689	△68,914	△15,185	242	△82,168	△82,168
2025年9月30日 残高	32,363	48,354	△173,107	644,478	58,252	610,340	610,340

当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2026年4月1日 残高	32,363	52,462	△44,372	655,566	99,707	795,726	795,726
中間利益				368,083		368,083	368,083
その他の包括利益					98,579	98,579	98,579
中間包括利益	-	-	-	368,083	98,579	466,662	466,662
自己株式の取得		△58	△105,777			△105,835	△105,835
自己株式の処分		△643	2,083	△1,440		-	-
配当金				△21,765		△21,765	△21,765
株式に基づく報酬取引		2,635				2,635	2,635
転換社債型新株予約権付社債の発行		7,712				7,712	7,712
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				7,370	△7,370	-	-
所有者との取引額等合計	-	9,646	△103,694	△15,835	△7,370	△117,253	△117,253
2026年9月30日 残高	32,363	62,108	△148,066	1,007,814	190,916	1,145,135	1,145,135

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	230,517	510,234
減価償却費及び償却費	12,362	14,556
金融商品評価損益(△は益)	-	△54,171
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△46,128	△12,522
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,346	△119,541
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	9,068	46,726
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,845	1,913
前受金の増減額(△は減少)	9,571	44,215
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△149	△234
その他	△9,245	△15,891
小計	209,187	415,285
利息及び配当金の受取額	1,273	2,811
利息の支払額	△870	△1,299
法人所得税の支払額	△69,667	△109,831
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	139,923	306,966
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の取得による支出	-	△26,053
資本性金融商品の売却による収入	-	22,133
負債性金融商品の取得による支出	-	△184,365
有形固定資産の取得による支出	△18,303	△21,454
無形資産の取得による支出	△1,295	△1,166
事業譲渡による収入	2,902	-
その他	△445	24
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△17,141	△210,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	-	100,000
自己株式の処分による収入	411	-
自己株式の取得による支出	△70,031	△105,872
配当金の支払額	△14,667	△21,751
リース負債の返済による支出	△2,644	△2,398
その他	△318	△392
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△87,249	△30,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	119	△3,853
現金及び現金同等物の純増減額(△は減少)	35,652	61,819
現金及び現金同等物の期首残高	262,544	339,966
現金及び現金同等物の中間期末残高	298,196	401,785

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、テストシステム製品群とテストハンドラやデバイスインタフェース等のメカトロニクス関連製品群の製造・販売を主な事業内容とし、その他にこれらに関連する研究開発及び保守・サービス等の事業活動を展開しております。

当社グループは報告セグメントと事業セグメントを同一の区分で管理しており、これらの報告セグメントは、製品と市場の性質に基づいて決定され、経営者が経営意思決定のために使用する財務情報と同様の基礎情報を用いて作成されております。

テストシステム事業部門は、SoC半導体デバイス向けのSoCテストシステム、メモリ半導体デバイス向けのメモリテストシステム、半導体デバイスをハンドリングするメカトロニクス応用製品のテストハンドラ、被測定物とのインタフェースであるデバイスインタフェースなどの製品群及び半導体やモジュールのシステムレベルテストのソリューションを事業内容としております。

サービス他部門の内容は、上記の事業に関連した総合的な顧客ソリューションの提供、ナノテクノロジー関連の製品群、サポート・サービス及び消耗品販売等で構成されております。

2. 報告セグメントに関する情報

当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

株式報酬費用は、主に譲渡制限付株式報酬の費用であります。

報告セグメントの利益(△損失)は、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。

セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。

前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	テスト システム事業	サービス他	消去又は 全社	連結
売上高				
外部顧客への売上高	477,957	48,776	-	526,733
セグメント間の売上高	-	-	-	-
合計	477,957	48,776	-	526,733
セグメント利益(△損失)(調整前営業利益(△損失))	240,556	3,048	△9,052	234,552
(調整)株式報酬費用	-	-	-	△2,117
営業利益	-	-	-	232,435
金融収益	-	-	-	1,316
金融費用	-	-	-	△3,234
税引前中間利益	-	-	-	230,517

当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

(単位:百万円)

	テスト システム事業	サービス他	消去又は 全社	連結
売上高				
外部顧客への売上高	770,231	74,969	-	845,200
セグメント間の売上高	-	-	-	-
合計	770,231	74,969	-	845,200
セグメント利益(△損失)(調整前営業利益(△損失))	455,564	20,866	△16,986	459,444
(調整)株式報酬費用	-	-	-	△2,635
営業利益	-	-	-	456,809
金融収益	-	-	-	57,016
金融費用	-	-	-	△3,591
税引前中間利益	-	-	-	510,234

(注)1. 全社に含まれるセグメント利益(△損失)への調整は、主として全社一般管理費及び事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2. 前中間連結会計期間におけるサービス他のセグメント利益には、事業の一部譲渡による譲渡益2,504百万円が含まれております。

3. 当中間連結会計期間における金融収益には、戦略投資に関連する金融商品の評価益54,171百万円が含まれております。